

平成23年8月1日発行

会員各位

協会だよりー224(8月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

<トピックス>

- 第210回月例会(見学会)は9月中に開催する予定です。8月5日の幹事会及び8月19日の運営委員会で決定次第、早めにご案内申し上げます。
- 第210回月例会に先立って、その後の第211回月例会(一泊研修会)の日時及び見学先が決定いたしましたので要点のみお知らせいたします。詳細は後日お知らせします。
 - 日時:平成23年11月18日(金)～19日(土)
 - 見学先:JX金属三日市リサイクル株式会社(富山県黒部市)
 - 備考:見学先の収容関係で見学人数:MAX30名となっています。
- 事務局の夏季休暇は8月12日(金)～8月17日(水)の予定です。
- 第24回JSCRA会(泉カントリー倶楽部)9月9日(金)開催。



- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二. 第二〇九回月例会を終了して
【予定事項】
- 三. 会員の代表者交代
日揮触媒化成(株)殿
- 四. 事務局より(8月度の予定)
【雑学】重要文化財I。(建築物)
明治生命館
- 五.

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー223(7月号)をメール&郵便で送信(7/1)
- ② 第209回月例会(講演会・懇親会)
日時:平成23年7月1日(金)15:55～20:00
場所:JXグループ・六本木クラブ
演題:～環境と復興の象徴「Fukushima」に向けて～
講師:島一樹氏(株シマ商会 取締役副社長)
出席:44名(31社)

③ 第二回運営委員会

日時：7月15日(金) 15時30分～17時00分

場所：堺化学工業株式会社会議室

出席：8名

議題：第210回月例会(見学会)の準備、第209回月例会の反省点

【予定事項】

① 第210回月例会(見学会)幹事会

日時：平成23年8月5日(金) 16:00～17:00

場所：触媒資源化協会事務局(ニュー新橋ビル601-A)

議題：見学会の場所の決定

幹事：川研ファインケミカル(株)、中外鋳業(株)、ヘレウス(株)
日本無機化学工業(株)(月例担当運営委員)

② 第三回運営委員会(臨時)

日時：8月19日(金) 15時30分～17時00分

場所：堺化学工業株式会社会議室

議題：第210回月例会(見学会)・・・幹事会の後を受けて。

出席依頼：運営委員・第210月例幹事会社。

2. 第209回月例会を終了して

～演題：環境と復興の象徴「Fukushima」に向けて～

平成23年7月1日(金)16時より、JXグループ・六本木クラブにて、上記演題の講演会が行われました。始めに当り、協会長・大井滋氏より、協会会員皆さんの最大関心事であるテーマの内容と、震災の対応でお忙しい時に講演を引き受けて頂いた島一樹氏に対する感謝の言葉がありました。

講師は南相馬市で操業する(株)シマ商会の取締役副社長・島一樹氏で、まだまだ終息せぬ震災後のご苦労を話して頂きました。途中、時には言葉を詰まらせながら震災当時の記録写真をスライドで示し、南相馬の本社直前まで押し寄せた津波、福島第一原発の事故により、震災の現場から宮城県更には山形県への従業員・バイヤーの逃避行、バイヤーの山形空港より成田、羽田への送り出し、更には従業員及びその家族の新潟県への移動、生活、避難先現地での事業の継続ら、家族は新潟の避難先に置き、従業員は南相馬の事業所での操業等、臨場感溢れる、即断即決のお話



に聴講した皆さんはエモーションを刺激され、感動と感心の一時間でした。

震災より3ヵ月半経ち、報道では原子炉の冷却安定化は進んでいるようですが、飛散した放射性セシウムが広範囲に影響し、蓄積した稲藁を餌にした肉牛に蓄積し、広範囲な問題となり大影響を及ぼしています。また海に流れ出した放射性物質の魚への影響は如何、これから判明すると存じます。本題に戻りますと、島さんの提案する、福島県浜通りの復興を原発から、メガソーラ発電所への変換、そのための福島県での大規模な投資、雇用の促進、県民の故郷への復帰等、大いに賛同する所です。あまりにも大規模な災害で傷跡も大きくて復興には年数を有する事項も多いとは存じますが、政府は与党・野党とも最大限協力して、迅速に対応して欲しいものです。被害甚大な東北3県の復興の早かれを祈念するところであります。



講演会の幹事長はアサヒプリテック(株)・伊達晋介殿、幹事は服部産業(株)服部彌徳殿、月例担当運営委員ミヤマ(株)・川上好武殿、堺化学工業(株)・大隈崇靖殿の4社で運営いたしました。

大井会長と島講師を囲んで川上さん、大隅さん、伊達さん、服部さんの幹事の皆さん。

3. 会員の代表者交代

7月22日に協会宛挨拶状を受領いたしました。6月29日の定時株主総会にて日揮触媒化成(株)の代表者が交代いたしました。

なお社長を退任された小松通郎殿は相談役に就任されました。会員各位よろしくお願ひいたします。

- 日揮触媒化成株式会社
 - 【退任】 代表取締役社長 小松 通郎 殿
 - 【新任】 代表取締役社長 山根 和郎 殿

日揮触媒化成(株)の協会担当者は齋藤純夫(協会運営委員)さんです。

以上

4. 事務局より(8月度の予定)

曜日	月	火	水	木	金	土
1週	1	2	3	4	5	6
	×	○	×	×	月例幹事会	×
2週	8	9	10	11	12	13
	×	○	×	○	夏季休暇	夏季休暇
3週	15	16	17	18	19	20
	夏季休暇	夏季休暇	夏季休暇	○	第3回運営委	×
4週	22	23	24	25	26	27
	×	○	×	×	○	×
5週	29	30	31	9/1	9/2	9/3
	○	×	○	×	○	×

事務局延べ出勤予定：10日(○;終日、△;半日、×は休日)。

5. 【雑学】重要文化財Ⅰ. (建築物) 明治生命館

都心にも重要文化財の建造物があるので、ご紹介いたします。明治生命館はメトロ千代田線の二重橋駅を地上に出たところ、馬場先門の交差点に立地しています。1934年(昭和9年)竣工して77年の建築物です。外観は古代ギリシャ・ローマを源とした古典主義様式といわれています。近辺は高層建築物が多く、圧迫されていますが日比谷通りの反対側は皇居なので、皇居外苑からは建物の全体が望めます。現在の会社名は明治安田生命相互会社です。



終戦の年1945年(昭和20年)から1956年(昭和31年)までの12年間、アメリカ極東空軍司令部として接収されていました。



重要文化財に指定されたのは、まだ日も浅い所ですが、1997年(平成9年)、昭和の建造物としては初めて国の重要文化財に指定されました。

建築物の内部は、土、日の11時~17時に公開しています。

〔所在地〕東京都千代田区丸の内2-1-1

二重橋駅より有楽町方面に歩くと、明治時代に一丁ロンドンと言われた赤レンガ建築物の一つ、三菱一号館の復元とされている、今人気の三菱一号館美術館が有ります。

〔参考〕

- www.meijiyasuda.co.jp/profile/
- www.kanko-chiyoda.jp/

【文責】専務理事